

第2回よさのみらい会議 実施報告書

2022.09.25 [SUN] 10:00-12:00 / 14:00-16:00 | 知遊館

実施概要

日時等 | 令和4年9月25日(日)

第1部 10:00-12:00 / 13人

第2部 14:00-16:00 / 10人

場 所 | 生涯学習センター知遊館

目 的 | 町民の皆さんの声を第2次総合計画
に反映すること【広聴】

町民の皆さん同士の新たな出会いの
場をつくること【実践準備】

※1 ワールドカフェ

少人数に分かれたテーブルで対話を行った後、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を行う方法

第2回与謝野よさのみらい会議は、午前・午後の2部構成で開催しました。

事務局から会議の目的やゴールを説明した後、人口動態やまちづくりアンケートをもとに、まちの現状を参加者と共有。与謝野町独自の取り組みで、先駆的に進める地域主体の子どもの居場所づくり「キッズステーション」についても紹介しました。

ワークショップには、一般公募の町民のほか、総合計画審議会委員、町職員が参加。テーブルに分かれ、「地域のつながりで子育てを応援する」をテーマにワールドカフェ※1方式で実施しました。





①



②



③



④

① 午前の部は3グループに分かれてワークショップを実施 ② 自己紹介する参加者 ③ 職員がファシリテーターを務めワークショップを進行 ④ グループ発表の様子

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと

支援
センターが
多い

地域
の
見守り

子ども園等
施設の
充実

さくら
連絡網

“足りない”こと

保育にも
入る所が
少ない。

雨の時
に
行ける所

ネット環境

テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町に
あったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト

保育時間
の
延長(休相)

気軽に
預けられる
ところ

公民館
で
保育

高齢者と
子どもの
マッチング

支援センタ
マップ

情報の
一本化

ハード

ウィルに
あそび場が
ほしい。

廃校の
保育室に
活用

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

声も
あげる！

意識の
ある人が
増えて...

みんなの役割（助け合ってすること）

役場の役割

意見も
言える所
が当たり前

与謝野町での子育て

支援
サービス

医療費の
無料化
(200円増)

産後リフレッシュ

“おすすめできる”こと

産後
育成会
子育て会

地域
と
子ども

地域
の
力

スポーツ
学校行事
など

地域
の
つながり
(祭り...)

コナ
から
せびく

個別訪
問もある
(子育て、健康)

乳児以外の
子育てなやみ
の
訪問

“足りない”こと

雨の日
に行く所

地域
の
つながり

子供の
数

テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町に
あったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト

続く
地域

CATVを
双方向に
する

つばき
を
拾う

意見・要望
・健康状況
・等々を
発信出来る

みんな
の
力

帰れる地
域・学べる
地域の場

公民館の開放
地区とのつながり
(まつりなど以外の
イベント)

ハード

各地域に
相談員を
配置する

地域
の
場

託児と
体験
(子供たちの
経験する場)

あそびと
学びの
場

学童・図書館
キッズステーション
複合の場

定住と
永住

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

みんなの役割（助け合ってすること）

子ども
同伴

子どもと
一緒に
歩ける

まずは
役場から

役場の役割

アット
ホーム
な雰囲気

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと

医療費
の
200円

いなか
暮らし

ハローベビ-
プロジェクト
事業

トライアングル

ファミサポで
支援センター
が使える事

キッズ
ステーション

施設

“足りない”こと

子どもの
遊ぶ場所

父親の
係り方

出生率の
改善

子育て世帯
の
目標

ママパパ
のつながる
場

フード
ドライブ

情報が
届いてない

女性の
参画

当事者の
参加

広報
情報発信

地域の
慣習を教える人
の情報

子育て世帯
への
配慮

テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町に
あったらいいな、必要なと思うこと

ソフト

広報の
仕方

学校で
英語を
公用語に

父親向け
子育て教室

多様な
趣味の
集まり

学校等
集まる場所
に出かけ
意見交換

風通しの悪い
ところの
改善

支援センター
etc
行政 joint

ハード

保育所の
3倍の利用率

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

参加
ある！

発信

女性の
意見交換

みんなの役割（助け合ってすること）

支援センター

中年男性
は情報源

公民館
の活用

役場の役割

聞いて
実行に
うつす

関係機関
との
連携

情報
(SNS)

対話
(協働)

テーマ

地域のつながりで子育てを応援する

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと

タリ

子育て
支援センタ-
3ヵ所

子育て支援
センタ-の案内
回覧板で

三河内公民
館 夏休み
児童支援
子ども
料理教室

地域の人の
思いにかなう

見守り
隊

子供
奉納相撲

“足りない”こと

地域の
集まる所

高校が
少ない

コロナ禍
行事(会合)
の減少

通学路
対策

テーマを実現するには？

郷土
料理
教室

テーマを実現するために与謝野町に
あったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト

新しい施設を
提案する
実践する

糸の
つながり

新しい
住民も
孤立させない

子育て
情報・
制度の
承知

産後ケア
知見の
場づくり

ハード

自分の家
他人の家
じゃなくて

ファミサポ
の
充実

(保育園で)
一時預り
の充実

雨の日
の
あそび場

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

で(おぼろ)
ババア
大事

みんなの役割（助け合ってすること）

みんなへの
おせっかい

村姑
になる!!

役場の役割

制度
も
作る

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと

広い公園

医療費が
中学生まで
200円

子育て
支援センター

子育て
支援策の充実

自然の中
での子育て

海の京都
アドラー
母の学び場
が町内に
3カ所ほどに
あるのは
いい

情報が
キャッチイ

“足りない”こと

習い事が
限られている

英語の
幼児教育

託児付きの
学びの場

近所
つきあい

高校生の
医療費
減免

本物に
ふれられる
場が少ない

民間の
参入

学校
子ども園の
生の声

各カテゴリー
が
1つしかない

テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町に
あったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト

子育て世代が
みる情報が
集まるような
サイト・アプリ

お母さんが
使いやすい
システム

外国語教育

町外・府外
国外との
交流

機会
場づくり

まちの偉人に
子どもたちが
出会う機会
対話の場

地域ごとの
育成会・子
会などの取組
みの継続

公民館の活用

アートに
ふれられる
美術館
ワークショップ

参加型
場づくり

スポーツ
クラブ
(体育館の活用)

ハード

旧加茂中公園の
整備
(学童保育)

加茂・野田に
シニアパークの
利用公園の活用

使用可能な
外公園を
管理

若い世代が
働ける場

作戦を考えてみよう！

下校時の
見守り

わたしの役割

自分でやる
ことは自分で
やる

子育て中の
お母さん
に、いい
言葉（お母さん
の言葉）

みんなの役割（助け合ってすること）

休日・時間外
(深夜)
保育の充実

子供と家族
に公民館活動

子育てとして
きた経験者
と現役子育て
中の人の会話

役場の役割

各種支援策
の発信

情報発信

役場の働き
を地域で
行う

集まりの場へ
(支援センター・PTA
・公民館など)
出張し、対話の
機会を!!

キーワード抽出

テーマ

地域のつながりで子育てを応援する

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと



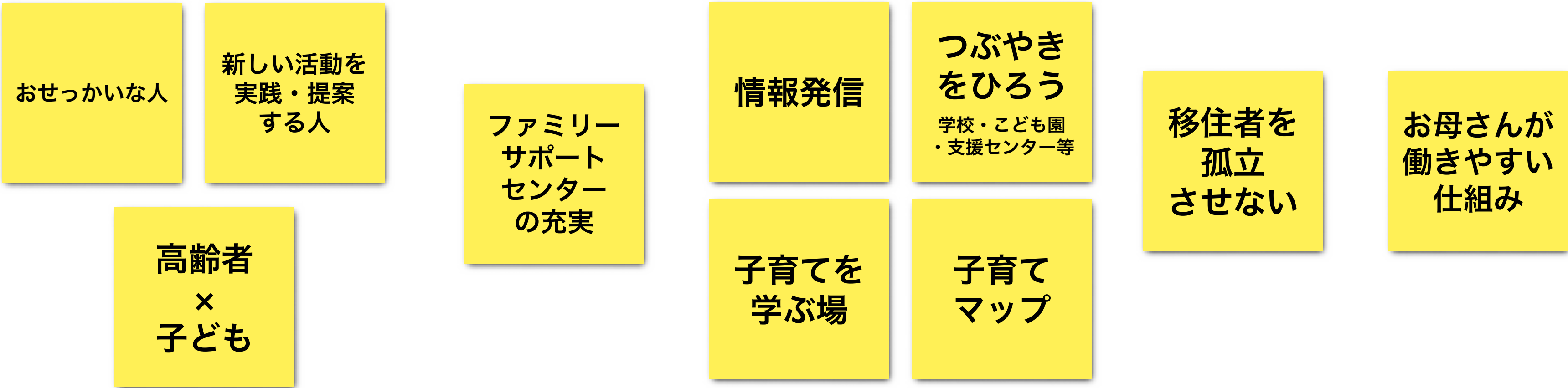
“足りない”こと



テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町にあったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト



ハード



キーワード抽出

テーマ

地域のつながりで子育てを応援する

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

発言する

参加する

発信する

見守り

おせっかい

子育てママ
の声を聴く

みんなの役割（助け合ってすること）

子供同伴
参加への
理解

公民館の
協力

おせっかい

役場の役割

子供同伴
参加の
促進

情報発信

声を聴く
(出向いて対話)

関係者を
つなげる

制度構築

主な意見（施策別）

※1 ファミリー・サポート・センター

子どもを預けたい「おねがい会員」と子育ての援助を行いたい「おまかせ会員」のネットワークをつくり、地域で子育てについて助け合う会員組織

親子の笑顔の暮らしを応援

- ・ 3つある子育て支援センターの情報を一本化して発信してほしい。
- ・ 子育て支援センターと行政のより一層の連携を求める。
- ・ 相談の場にいけない人もいる。こちらから個別訪問して悩みを聴くなどの対応が必要。
- ・ ファミリー・サポート・センター※は預かりの場所が「おまかせ会員」の家なので不安な面も多い。保育園等に預かりスペースを設けてもらうか、保育園の一時預かりのハードルを下げてもらえるとうれしい。

地域ぐるみの子育て力の向上

- ・ 近所の子どもたちを褒めたり叱ってくれるおせっかいな人の存在が大切。
- ・ 昔は、祭りを通して子どもたちを育ててもらったり、区民運動会で地域全体の顔が見えた。今はコロナで集まる機会が減少。近所とのつながりも希薄になっている。
- ・ 各地域に子育て相談員のような方を設置できないか。
- ・ 子ども（未就学児・小学生）と一緒にということが当たり前になっていないと、こういった場に若い世代は参加しづらい。子どもと参加することが当たり前という雰囲気づくりが大切。

主な意見（施策別）

地域ぐるみの子育て力の向上（続き）

- ・ 近隣市のように、町内の商業施設に雨の日に子どもを遊ばせるところがあればうれしい。
- ・ 保育園・小学校の跡地利用として、子どもたちの遊び場づくりができないか。
- ・ 公民館で保育をしてくれれば気軽に預けられる。
- ・ 見守りと体験、遊びと学びなど、いろんな機能が一体となった子育ての場があるとよい。
- ・ 子育てママのキャリアを生かした仕事づくり支援や、活躍を促す取り組みが必要。
- ・ お母さんが働きやすい仕組みづくりが必要。

親と子の学び・育ちの場づくり

- ・ 父親向けの学びの機会づくりが必要。
- ・ 男性が持っているつながりを子育てに生かすことができるのではないかな。

その他（広報・広聴）

- ・ 子育て世代の人たちが意見が言える場や対話できる場が必要。
- ・ こういった場に当事者の参加が少ない。子育て世代の目線に立った場づくりや、当事者の集まる場に出向いて意見を聴くべき。
- ・ 子育て世代に親しみやすい情報発信ができていない。
- ・ 町広報媒体を通じて、役場と町民の双方向のやりとりができれば。（例：子育て情報に特化したSNSの構築など）